

優 秀 賞

福岡市

JR博多駅博多口駅前広場の再整備

都 市 名	福岡市	事 業 主 体	福岡市
事 業 概 要			

JR博多駅は、約36.5万人/日が利用する九州最大のターミナル駅であり、本市都心部の核を形成する地区である。従前の博多口駅前広場は、自動車交通の処理を中心に整備され、大部分を車両空間が占めており、歩行者空間の不足や自動車と歩行者の交錯などの課題を有し、陸の玄関口としても魅力に欠けたものであった。本事業は、平成23年3月の九州新幹線の全線開業を契機に、交通結節点としての機能強化を図るとともに、賑わい・交流の拠点として駅前広場の再整備を行うものである。

本事業により、十分な歩行者空間が確保され、自動車と歩行者の交錯の解消や、分かりやすい乗り換え動線など、公共交通の利便性が向上した。また、新たに整備された広場空間でのイベントの実施等により、駅周辺まちづくりと連携した賑わいを創出しており、都心全体の活力向上に寄与している。さらに陸の玄関口として相応しい魅力的な都市景観を形成しており、本市のランドマークとなっている。

- 事業面積：約15,400m²（JR九州用地を含む）
- 事業費：約12.3億円（JR九州1/2負担分も含む全体事業費）
- 事業期間：平成22年度

表 彰 理 由

車両乗降場が一般車、バス、タクシーの用途別に分離され利便性が向上している点や、分かりやすく快適な乗り換え動線となっている点が高く評価された。自動車と歩行者の交錯箇所を2箇所に抑えたことに加え、バス停留場を広場内に取り込まなかったことで、交通処理を適切に行うことができ、安全で快適な歩行者空間を創出した点が評価された。

短期間で整備を行ったことも評価が高く、近年見た駅前広場整備の中では秀逸であると賞賛された。



広場空間でのイベントの様子



ゆとりのある歩行者空間

従前の状況

